



目次	2面	はじめよう! 健康づくり ほか
	3面	県からのお知らせ
	4面	吹き竹・県政トビックス・文化情報ほか
編集・発行 栃木県広報課 平成25年2月3日発行		
〒320-8501 宇都宮市堀田1-1-20		
TEL 028-623-2192 FAX 028-623-2160		
栃木県のホームページ http://www.pref.tochigi.lg.jp/		
毎月第1日曜日発行(次回は3/3発行)		

フードバレーとちぎを目指して

県では“食”をテーマに地域経済が成長・発展し、活力あふれる姿、“フードバレーとちぎ”を目指しており、その実現に向けて農林漁業者や食品関連企業など500以上の幅広い主体が、相互に連携しながら、さまざまな取り組みを行っています。今回はそれらの取り組みの中から、本県特産の農産物を活用した新商品開発を紹介します。



とちぎ食と農の展示・商談会2013(マロニエプラザ大展示場)



44年連続収穫量日本一を誇ります。ビタミンCが豊富で、塩分の排出を助けるカリウムなども含まれています。

県では農業者(1次産業)自らが加工(2次)、販売(3次)を行い農業の収益力を高める、農業の6次産業化(1×2×3)を推進するため、事業費の補助などを行っています。

この事業を活用して、いちご狩り園を営む農業者が、遠方から訪れる観光客でも、持ち帰りやすいお土産品「いちご畑のチーズケーキ」を開発しました。原料に自社農園で採れたとちおとめを使い、加工・販売も農園内のスイーツ工房で行っています。

また、フードバレーとちぎ農商工ファンドを用いて、農商工連携による商品開発に対する助成を行っています。

この事業を活用して農業者と中小企業者が協力し、栽培方法の工夫で糖度を高めたいちごを原料に、カクテル市場などへの参入を狙い開発した「いちごの高級シロップ」も商品化されています。



いちごの高級シロップ／(株)カンボテクニコ・農業生産法人(株)いちごの里湯本農場



いちご畑のチーズケーキ／農業生産法人(株)いちごの里湯本農場



主にビールの原料(麦芽)に使われ、収穫量は全国第2位です。コレステロール値を下げると言われる、βグルカンが豊富に含まれています。

県では、フードバレーとちぎの取り組みの一つとして、全国屈指の生産量を誇る二条大麦といちごを活用した地ビールを企画し、県内地ビールメーカーにより商品化されました。

仕込み水に名水百選認定の尚仁沢湧水を使用した「県産二条大麦100%ビール」と、本県の観光いちご園でしか栽培されていない希少ないちご「とちひめ」と



栃木県産ビール／(株)ファーマーズ・フォレスト・栃木マイクロブルワリー

二条大麦をコラボさせた「県産とちひめフルーツエール」があります。人気商品のため現在は品薄となっています。

また、大麦関連商品として、大麦のぬかなどを混ぜた飼料で育った鶏の卵(宇都宮大学との共同研究)と大麦の粉を使用した「大麦たまごカステラ」や、麦焼酎に大麦を焙煎した麦焦がし粉を加え麦本来のほのかな甘みや香ばしい香りが楽しめる「麦こがし焼酎」なども商品化されています。



大麦たまごカステラ／(株)大麦工房ロア



麦こがし焼酎／(株)白相酒造

県産農産物を活用した多彩な商品

本県にはトマトやゆず、そばなど県産農産物が豊富にあり、これらを活用したさまざまな新商品も開発されています。

県では、フードバレーとちぎを目指した取り組みにより、これからも、とちぎ発の魅力的な商品をつぎつぎと生み出し、また、“食”を通じてとちぎの魅力を国内外に発信していきます。



夕顔の実を原料とするかんぴょうは、国内産の9割以上が本県産。夕顔の実には胃腸の働きを活発にする食物繊維を豊富に含んでいます。

県では夕顔などの県産品の利用拡大を目的とした研究会を実施しています。

研究会に参加した食品加工業者は、試作品を他の参加者に試食してもらい、その評価や意見などを生かして「ゆず夕顔」を開発しました。夕顔を茂木町産の香り高いゆずで爽やかな風味に仕上げた酢漬けで、夕顔独特のナタデココのような食感を楽しむことができます。

原料の夕顔を栽培しているのは、研究会を通じて知り合った農業者です。農業者は、夕顔を作っていませんでしたが、夕顔の生産者を探しているという相談を受けて、夕顔の栽培も手がけることに決めました。



ゆず夕顔／久保田食品(有)



燻製玉子／(株)とちぎ田舎倶楽部・(株)ナスエッグ



ハトムギソフトクリーム／さかがわ協議会



レトルトハヤシ／(株)釜屋・サンファーム・オオヤマ(有)



そばガレット／農事組合法人そばの里まざの



ゆず味噌たれ付豚肉／(有)ミヤ商事



ゆず餃子／宇都宮餃子さつき



地元農産物の惣菜／企業組合 農産物加工研究所 麦苗のみち



ハーブ入りクッキー／(有)花農場あわの



きんぴらまん／林農産加工(有)

フードバレーとちぎとは

本県の強みである良質で豊富な水や農産物を生かし、農業者や食品製造者等が連携して、県産農産物を活用した新商品開発や国内外への販路開拓などに積極的に取り組むとともに、食品製造企業が立地・集積することにより、地域経済が成長・発展する姿。

「商品開発・技術開発」「販路開拓」「企業誘致」「農業をはじめとする関連産業の高付加価値化」を4つの柱として、各種施策に取り組んでいます。